

■ 実質公債費比率の将来推計(平成21年度改訂)

	実質公債費比率の 見込み(単年度)	実質公債費比率の 見込み(3カ年平均)		実質公債費比率の 見込み(単年度)	実質公債費比率の 見込み(3カ年平均)
計画策定年度 (平成18年度)	29.5%	28.5%	第6年度 (平成23年度)	23.7%	25.2%
第2年度 (平成19年度)	30.0%	29.9%	第7年度 (平成24年度)	21.6%	23.9%
第3年度 (平成20年度)	30.1%	29.8%	第8年度 (平成25年度)	19.2%	21.5%
第4年度 (平成21年度)	25.4%	28.5%	第9年度 (平成26年度)	17.9%	19.5%
第5年度 (平成22年度)	26.5%	27.3%	第10年度 (平成27年度)	16.2%	17.7%

2000年
有珠山噴火

応援第一陣の箱根町職員

復興後の当町を訪問

姉 妹都市の箱根町から、有珠山噴火当時応援部隊として来町した職員が、1泊2日の日程で、1月15日当町を訪問し、見違えるほどきれいになった街の変貌に驚いていました。

訪問したのは、箱根町からの第1陣として、2000年の5月22日から10日間救援活動にたずさわった6人。

当時多くの地域が避難解除されていなかった中で、避難所や消防などに配属され、職員といっしょに昼夜を問わず被災住民のため奮闘しました。

同職員らは帰町した後、復興した当町を再度訪問しようと、個人的にお金を積み立て、噴火から10年の節目の年に永年の思いを実現させました。

役場に到着した一行は、早速長崎町長を表敬訪問し、今回の訪問の目的を伝え、町長からはあらためて救援活動に対し感謝の言葉が述べられました。

その後サミット会場となったウインザーホテル、サミット記念館を見学し、翌日は洞爺湖ビジターセンター、火山科学館を訪れ、復興の歩み

を実感しました。

参加した職員らは、復興したまちを、一度見てみたかった。

「当時は、すべてが灰色の世界に見えたが、道路も整備され、山にも緑が戻り、びっくりに

ている」など町の立直りに言葉もないほど感激していました。



サミット記念館で記念撮影する職員の皆さん